和's YAMATO（わずやまと） 秋号 2014

『軍師官兵衛』

黒田家は豊前・中津城へ –新天地では多難続き–
宇都宮氏の本拠地・城井ノ上城 –深い谷間を要塞にした山城–
官兵衛の説得で小田原城を無血開城に導く
秀吉による海外進出の軍事拠点 肥前名護屋城
頓挫した九州平定の企て

平成27年1月からスタート NHK大河ドラマ『花燃ゆ』

お客様紹介
㈱プリンスホテル 様
特別養護老人ホームつかのめの里 様
名水探訪 安曇野わさび田湧水群

表紙の写真：小田原城天守閣と菊
11月上旬に小田原城菊花展が開催され、小田原城周辺が菊で彩られます。

和's（わずやまと） YAMATO 秋号 2014（第22号）

『和's YAMATO』の由来
ヤマトの漢字の「和」、Water & Air の頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。
ヤマトが発信するメッセージです。

株式会社ヤマトPR誌/和's YAMATO 2014 秋号／2014年9月発行
発行：株式会社ヤマト（広報室）群馬県前橋市古市町118
TEL.027-290-1891 FAX.027-290-1896
URL: www.yamato-se.co.jp/

名水探訪
環境省選定
名水百選

安曇野わさび田湧水群
あづみのわさびだゆうすいぐん

北アルプスの雪解け水である安曇野の伏流水は豊富な水量を保ち、古くから新田の開墾や用水・堰の開削に利用されてきました。大正時代からはわさびの栽培に用いられ、その排水はニジマス養殖に使うなど、水を循環利用してきました。

大王わさび農場の近くを流れる川には、水車があります。

◎水質・水量
日量70万トンを誇る一大湧水群は、真夏でも水温が15度を超えることは無く、冷たく、清澄です。

◎おすすめ時期
四季を通じて、安曇野の田園風景や北アルプス連峰の雄大な眺望を楽しむことができます。3月下旬から5月上旬には、わさびの白い花が咲き揃います。

◎周辺の自然環境
犀川、穂高川、高瀬川が合流する複合扇状地の末端地域に位置し、日本一の規模を誇る大王わさび農場を始め、多くのわさび田が散在しています。犀川河畔には11月から3月まで800羽程のコハクチョウが飛来して冬を超します。古来から信仰を集める穂高神社の例祭「お船まつり」は多くの人で賑わいます。

水場には多くの観光客が湧水でのどを潤します。

◎イベント情報
- 信州安曇野わさび祭り（8月上旬）
- 穂高神社「お船祭り」（9月26 ～ 27日）

■ 大王わさび農場
所在地：長野県安曇野市穂高3640
TEL.0263-82-2118

◎アクセス
- 鉄道・バスでお越しの場合
  JR大糸線「豊科駅」下車⇒車10分
  JR大糸線「柏矢町駅」下車⇒車5分／徒歩20分
  JR大糸線「穂高駅」下車⇒車5分／徒歩20分
- お車でお越しの場合
  長野自動車道豊科IC⇒5分

株式会社ヤマト
群馬県前橋市古市町118 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
支店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北
営業所／軽井沢、伊勢崎、茨城、太田、神奈川県央、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀
附属施設／大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、ヤマトコンタクトセンター
ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

黒田家は豊前・中津城へ――新天地では多難続き――

中津城

豊前の川と海を自然の要害として活かした水城。堀には海水が引き込まれており、今治城、高松城と並ぶ日本三大水城に数えられる。天守閣は西南戦争で焼失、昭和39年（1964）に現在の模擬天守が建造された。

城下には神社の参道がある

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」

官兵衛は九州征討の功績で、九州の豊前六郡の領主となり、その後、小田原征伐に軍師として赴く。また、秀吉の朝鮮出兵では軍監として出兵、関ヶ原の戦いの時には「九州の関ヶ原」とも呼ばれる大きな戦を仕掛け、家康への対抗心を燃やす。こうした官兵衛にまつわる一連の動きを取り上げた。

九州征討の恩賞は豊前十二万石のみ

官兵衛は秀吉の軍師として功績を上げるが、その先を見通す眼力が、秀吉を警戒させるようになっていく。

秀吉は官兵衛に「九州を平定したなら一国を与えてもよい」と言っていたのだが、九州平定に大きな働きをした官兵衛に与えられたのは、小国の豊前十二万石だった。小早川隆景が七十万石、佐々成政も肥後五十万石を与えられたのに比べると、官兵衛は冷遇されているように見える。

官兵衛にとってもこれは不本意な恩賞であったらしい。黒田家の正史である『黒田家譜』には、秀吉が官兵衛の才知をねたみ、秀吉の側近の石田三成も官兵衛をねたんで告げ口を繰り返したためだと書かれている。

官兵衛が行った、たった一度の非情な謀略

天正一五年（一五八七）、官兵衛は中津城（現在の大分県中津市）を築き、居城とした。しかし、豊前を治めるのは容易ではなかった。旧領主の大友氏に仕えていた家臣が、官兵衛に抵抗して一揆を起こしたのだ。黒田家にはこれを抑える兵力がなかったため、毛利輝元、小早川隆景、吉川広家に援軍を頼んでようやく一揆をほぼ鎮圧することができた。

だが、それで反乱が収まったわけではない。一揆の中心人物だった宇都宮鎮房は、鎌倉時代から続く名門の武士であったため、農民出身の秀吉に臣従する気はなかった。

秀吉に伊予十二万石を与えられ、城を明け渡して伊予に移ることを命じられていたが、四百年もこの地を支配してきた宇都宮氏が、やすやすと領地を差し出すわけがない。鎮房は秀吉の命令を拒否して、堅固な城井谷を拠点に徹底抗戦を図った。長子の黒田長政は

官兵衛の許しも得ずに城井谷を攻め、一度は大敗を喫したが、徐々に鎮房を追い詰めていく。

天正一六年（一五八八）、形勢不利とみた鎮房は官兵衛との和睦に応じるが、秀吉はそれを受け入れず、官兵衛に宇都宮氏を壊滅させよと命じる。

そこで官兵衛は一計を案じ、鎮房の娘、鶴姫を長政の妻として迎えるという約束をする。四月、長政は官兵衛の命に従い、鎮房を中津城に招き、宴席で家臣に鎮房を斬殺させる。その後、鎮房の子・朝房も殺し、宇都宮氏を滅ぼした。

官兵衛は、長政が戦いで負けたことから、合戦で鎮房を破ることは無理だとみて、和睦を結んで鎮房を油断させ、謀殺したと考えられる。無用な戦いを避けることを旨とした官兵衛の人生で、唯一の血なまぐさい謀略だった。だが、これが秀吉との主従関係に影を落とすことになった。

秀吉はある時、御伽衆に、「自分の次に天下を取るのは誰だと思うか」と問いかけた。そして、自ら「それは官兵衛であろう」と語ったという。この頃から、秀吉は官兵衛の非情ともいえる徹底した智略・謀略を警戒するようになったのかもしれない。

合元寺（ごうがんじ）

官兵衛に従い中津に移住した空誉上人によって開山された寺。長政が鎮房を中津城内で謀殺した際、その家臣を合元寺で待機させ、斬殺した。以来、寺院の壁は何度塗り替えても血痕が染み出てくるため、壁を赤く塗ったという。

合元寺の柱には当時の刀傷が残っている。

円応寺の河童の墓

円応寺は官兵衛によって開基された黒田氏の菩提寺。境内にある河童の墓は、母里太兵衛（もりたへえ）の弟の墓といわれている。

西蓮寺（さいれんじ）

西蓮寺を開基した光心師は俗名「黒田市右衛門」といい、黒田官兵衛の末の弟。父・黒田職隆の逝去に伴い出家したといわれ、官兵衛を慕って中津に移り、天正16年（1588）に当寺を開山した。

黒田官兵衛・関連年表

天文15年（1546）	小寺（黒田）職隆の嫡男として姫路城で生まれる。幼名は萬吉。
永禄 4年（1561）	御着城で小寺政職の近習として仕える。
永禄 5年（1562）	この頃元服し、官兵衛孝高と名乗る。
永禄10年（1567）	志方城主・櫛橋伊定の娘を娶る。
	職隆に代わって姫路城代となる。
永禄11年（1568）	嫡男長政（幼名・松寿丸）が誕生。
永禄12年（1569）	龍野城主赤松政秀の来襲を青山の合戦で撃退する。
天正 3年（1575）	主君政職に織田信長への帰属を説き、岐阜で信長に拝謁。名刀「圧切」を与えられる。
天正 4年（1576）	英賀ノ浦（姫路市飾磨区）に上陸した毛利の大軍を迎え撃って大勝。信長より感謝状を贈られる。
天正 5年（1577）	播磨入りした羽柴秀吉のために姫路城を提供。
天正 6年（1578）	三木の別所氏ら播磨の諸将が毛利に寝返る。
	荒木村重が信長に謀反。村重説得のために有岡城（伊丹市）に入るが、捕えられ土牢に幽閉される。
天正 7年（1579）	有岡城が落城。自らの家臣に救出される。
天正 8年（1580）	城主別所長治が切腹し、三木城落城。小寺政職が御着城から逃亡したため姓を小寺から黒田に戻す。
天正10年（1582）	本能寺の変。
天正11年（1583）	キリスト教に入信する。（洗礼名・シメオン）
天正15年（1587）	九州征討の論功行賞で豊前6郡12万石の国守となる。
天正17年（1589）	家督を長政に譲り「如水」と名乗る。
天正18年（1590）	秀吉の小田原城攻めに参加。小田原城に乗り込み、北条氏政、氏直父子に講和を勧め、無血開城に導く。
文禄元年（1592）	朝鮮外征軍の軍監となって出兵する。
文禄 2年（1593）	朝鮮から許可なく帰国。秀吉の怒りを買い、頭を丸めて謹慎する。
慶長 5年（1600）	関ヶ原の役。中津城にあって兵を募り、石垣原の戦いなどで勝利。九州の大半を制圧するが、家康の命に従い停戦する。
慶長 9年（1604）	京の伏見屋敷で病没。享年59。

宇都宮氏の本拠地・城井ノ上城 ―深い谷間を要塞にした山城―

城井ノ上城

城井ノ上（きいのこうえ）城の築城は建久六年（一一九五）と古く、自然の巨岩がくりぬかれて造られた門など、特殊な構造となっている。よそ者は近寄ることができない閉鎖空間だ。官兵衛は、この城を落とすことはできないと判断し、宇都宮氏を謀殺したと考えられる。

［所在地］
福岡県築上町寒田
JR日豊本線・築上駅より
バス・上寒田バス停下車徒歩40分

宇都宮（城井）鎮房（うつのみや きい しげふさ）（1536～1588）
中津城内の城井神社に祀られている。（築上町提供）

宇都宮一族の墓所（築上町・天徳寺）

城井ノ上城の表門。

城井谷絵図
『城井谷絵図』では、城井ノ上城の表門を「城井盾籠所」と表している。（絵図の左端・南側）。自然の巨岩の表門と裏門があり、周囲を岩壁に囲まれた地形で、村人などが避難のため籠る場所と思われる。（築上町提供）

中津の見どころ紹介

群馬とゆかりのある中津の先哲

明治13年（1880）に中津の子女25名が群馬県の富岡製糸工場に実習生として赴き、鹿はその監督者として同行した。帰郷後は中津製糸会社の監督者として模範的な指導をしたという。写真の看板は医家資料館の前に掲げられている。

中津は、幕末に福沢諭吉など先進的な思想家を輩出しました。群馬県とゆかりのある学者や、富岡製糸場で研修した産業人の方々が、「中津の先哲」として崇敬されています。

増田 鹿（1851～1929）

小幡篤次郎（おばたとくじろう）（1842～1905）（中津市歴史民俗資料館像）
小幡篤次郎は中津藩士で、甘楽（上州）小幡氏の系統。「学問ノススメ」を福澤諭吉と共著した。

中津市歴史民俗資料館

慶応義塾で福澤諭吉に次いで尊敬を集めたといわれる小幡篤次郎の生誕地に建っている。中津城の出土品など、中津市に関連する考古資料を収集・展示している。

福澤諭吉旧居・記念館

福澤諭吉は天保５年（1834）、大坂の中津藩蔵屋敷で生まれた。福澤諭吉が1歳６ヶ月の時に父が急死し、天保七年(1836)秋、母子６人で大坂の中津藩蔵屋敷から中津に帰郷した。

大江医家資料館

代々中津藩の御殿医を務めた大江家に伝わる資料を展示。中津は「蘭学の里」とも呼ばれる。高野長英が潜伏したとされる土蔵が現存する。

古色蒼然とした医薬品の容器が並んでいる。

高野長英（たかのちょうえい）（1804～1850）
江戸時代後期の医者・蘭学者。幕府を批判したことで罪に問われ、蛮社の獄で収監されたが牢屋の火災で脱獄、四国・九州などで潜伏しながら医学書の翻訳や多くの門人を育成した。

高野長英潜伏の土蔵

内部は資料室になっている。

官兵衛の説得で小田原城を無血開城に導く

豊臣秀吉は、天正一七年（一五八九）十一月に、小田原城の北条氏政・氏直が宣戦布告した。四国、九州の平定に続き、全国統一のためには、関東での対抗勢力を潰す必要があった。秀吉軍は、翌年の三月に、総勢二十一万ともいわれる大軍を動員して小田原城に進撃する。この大戦に、官兵衛と長政父子も参戦した。

北条氏側では、以前から秀吉軍の襲来を想定し、小田原城をはじめ関東一円にちらばる支城の防備を固めていた。小田原城と城下町を防衛するための、全長九㎞にも及ぶ外郭である惣構（そうがまえ）はこの時に造られたという。惣構は堀と土塁で城と城下町を守り、大軍の総攻撃を跳ね返すのに重要な役割を担う。北条側は臨戦態勢に入り、武器、兵糧、弾薬などの準備も進められた。

小田原城攻めは、秀吉と官兵衛にとって、自軍から犠牲者を出さずに相手を降伏させる城攻めの集大成と位置づけられる。圧倒的な兵力を持ちながらも、兵糧攻めを選択する。また、相手の戦意を喪失させる作戦を大胆に採用するのである。その一つが、小田原城から三㎞ほど離れた場所に位置する笠懸山に、総石垣の城を一夜で完成させ、突如敵の前に現れるようにするといった、用意周到な演出だった。このエピソードは「石垣山一夜城」として知られている。北条側の城兵はその様子に戦意を喪失したといわれている。

小田原城の守りは堅かったが、天正一八年（一五九〇）に松井田城（群馬県）、鉢形城（埼玉県）などの主要な支城が攻め落とされると、大軍に囲まれ窮地に追い込まれる。城内では徹底抗戦を貫く戦意が衰え始めた時、官兵衛が交渉に乗り出し、無血開城となった。小田原を本拠地とした北条氏は滅亡。戦国時代は終わりを告げた。

小田原城天守閣（神奈川県小田原市）室町時代に大森氏の築いた山城が前身で、その後北条氏の居城となる。昭和35年には天守閣が復興され、4階の展望室からは房総半島や伊豆半島が一望できる。

二の丸の東堀
本丸・二の丸を守る堀の中でもっとも大きく、幅は最大で約40mある。

銅門（あかがねもん）二の丸の正門。銅板の装飾がされているところから銅門と呼ばれている。

天下統一までの黒田官兵衛の主な合戦年表

永禄 5年（1562）17歳	近在の土豪を討伐（初陣）
永禄12年（1569）24歳	青山の戦い
天正 4年（1576）31歳	英賀の戦い 戦後、播歴の諸将に 織田方への帰順を説得
天正 5年（1577）32歳	佐用城・上月城攻め
天正 6年（1578）33歳	三木城攻め 宇喜田直家を調略 荒木村重の説得のため 有岡城へ赴き、幽閉される
天正 9年（1581）36歳	鳥取城攻め
天正10年（1582）37歳	中国大返し、山崎の戦い
天正11年（1583）38歳	賤ヶ岳の戦い
天正13年（1585）40歳	四国攻め
天正14年（1586）41歳	九州攻め
天正15年（1587）42歳	島津軍を攻略
天正18年（1590）45歳	小田原城攻め

北条早雲公像
（小田原駅前）
北条早雲（1432～1456）は戦国時代に関東一円を勢力下に置いた小田原北条氏5代の祖。明応4年（1495）伊豆から箱根を超えて小田原に進出、その後小田原は96年間にわたり北条氏の城下町として繁栄し、東国一の都市に発展した。

秀吉による海外進出の軍事拠点 肥前名護屋城
―城づくりに官兵衛が活躍―

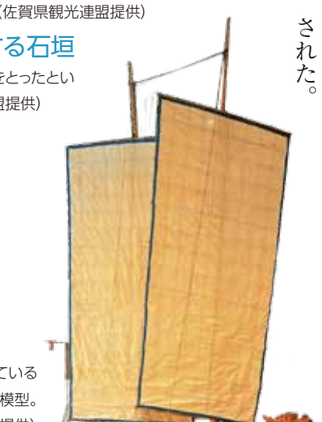
肥前名護屋城は、秀吉の朝鮮出兵に際して、日本側の軍事拠点として築かれた。築城には全国の大名が参加し、当時の最新技術が用いられた。総面積一七万㎡にも及ぶ広大な敷地に、五層・七階の天守閣がそびえ立っていた。城から周囲三㎞の城下には、全国から集まった諸大名の陣屋が一三〇ヶ所以上立ち並んだという。城下町には武士だけでなく、商人、僧侶など人々が生活し、人口は二十万人にも達したという。都から遠く離れたこの地に、大坂に次ぐ巨大都市が出現した。

豊臣秀吉によって築城が始まったのは天正一九年（一五九一）十月で、主に九州に領地を持つ大名が普請にあたった。わずか五カ月で城郭の一部が完成した。「黒田家譜」によれば、城の縄張は官兵衛によるものと書かれている。本丸には黄金の茶室があり、下山里丸には能舞台が設けられている。秀吉が名護屋城に居城したのは通算して十二カ月半ほどで、文禄二年（一五九三）八月に大坂に戻ってからは二度と名護屋城に入らなかったという。

一時は繁栄していた名護屋城だったが、秀吉の死により文禄・慶長の役が終了すると、慶長七年（一六〇二）に解体され、一部は唐津城新築の材料に使われたという。島原の乱（寛永一四年・一六三七年勃発）のあとは、一揆の拠点とならないように石垣のほとんどが破壊された。

肥前名護屋城（空撮）総面積は17万㎡、金箔瓦で覆われた5重の天守を130棟余の大名陣屋が囲んでいた。その壮大なスケールに圧倒される。（佐賀県観光連盟提供）

名護屋城の現存する石垣
城の縄張りは官兵衛が指揮をとったといわれている。（佐賀県観光連盟提供）



名護屋城博物館に展示されている戦国時代の軍船の模型。（佐賀県立名護屋城博物館提供）

肥前名護屋城図屏風（ひぜんなごやじょうずびょうぶ）［部分］（16世紀末～17世紀初頭）名護屋城や城下町を中央に描くほか、周囲には、軍船や大名の陣屋をみることができる。狩野光信によって描かれたと考えられている。（佐賀県立名護屋城博物館提供）

頓挫した九州平定の企て

黒田如水本陣跡の石碑

黒田軍先遣隊の井上久郎右衛門之房（いのうえくろうえもんゆきふさ）らがこの地に布陣し、本隊が到着する前に大友軍に打撃を与えた。

石垣原古戦場跡の碑

同じ敷地内に、両軍の無名戦死の供養墓が安置されている。

吉弘神社

大友軍の吉弘統幸（よしひろむねゆき）を祀る神社。忠臣として黒田軍からも賞賛された名将だった。

大友義統本陣跡（別府市南立石本町）

黒田軍に追い詰められた大友軍は、石垣原で3日間に及ぶ戦闘の末、破れた。「九州の関ヶ原」と呼ばれる重要な戦だった。

官兵衛率いる黒田家にとって大きな転機となったのが、天下分け目の関ヶ原の戦い（慶長五年・一六〇〇）である。

長く秀吉に仕えた官兵衛も、秀吉の晩年はやや距離を置くようになった。慶長三年（一五九八）に秀吉が死ぬと、官兵衛は天下取りに近いのは家康と見極め、家康との関係を強固にする方策を取る。跡取りの長政は既に蜂須賀正勝の娘を正室として迎えていたが、それを離縁して、家康の養女・栄姫を正室に据えたのである。

関ヶ原の戦いが始まると、九州で大友義統（おおともよしむね）が兵を挙げた。義統は朝鮮出兵の折、敵前逃亡をとがめられて秀吉に領地である豊後（大分県）を没収されていた。関ヶ原の戦いでは西軍に属していたのだが、世間の目が関ヶ原に向いている隙を狙って、旧領地を取り戻そうとしたのである。

東軍についた官兵衛は、黒田の全軍を関ヶ原に送っていたが、浪人や農民を集めて新たに軍を作り、義統を攻めた。両軍は苛烈な戦いを繰り広げ、石垣原（いしがきばる）での三日間の戦いの後、義統は降伏した。

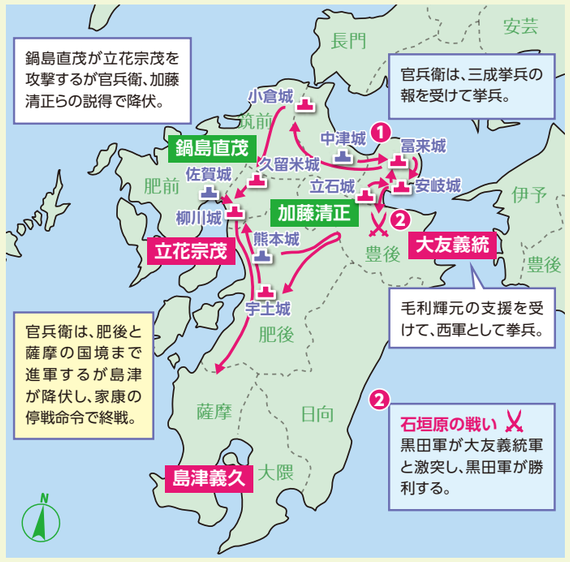
だが、官兵衛は攻撃の手を緩めず兵を進め、一カ月足らずで豊後一円をほぼ平定した。残るは島津氏の領国、薩摩だけ、というところで、家康から停戦命令が出された。官兵衛の九州平定の企ては、あと一歩のところで断たれてしまったのだった。

実相寺山からの眺め

黒田軍とともに、黒田軍を支援する細川忠興（ほそかわただおき）の家臣たちが、大友軍と対峙する位置にある実相寺山に布陣した。

鎧を着用したガイドが合戦の推移を説明

「石垣原古前場」周辺map



コラム

『黒田家譜』に隠された官兵衛の野望

黒田如水（福岡市博物館所蔵）

現在、NHKの大河ドラマで注目されている黒田家には、黒田家の正史を記した『黒田家譜』が伝わっている。

これを書いたのは、黒田官兵衛の筑前黒田家に仕えた儒学者・貝原益軒。貝原益軒というと『養生訓』などの教訓ものの著者として知られているが、『慎思録』や『大疑録』などを書いている高名な儒学者だったのだ。

『黒田家譜』には主として黒田官兵衛、長政父子の活躍が記録されている。黒田家は筑前以外に、官兵衛の五・六代前に筑前黒田家と分かれた薩摩黒田家に嫁いだ女性がいて、薩摩黒田家にも官兵衛の血は流れており、『黒田家譜』も伝わっているという。

官兵衛はこれまで言われてきたように、秀吉の軍師としてではなく、官兵衛自身が天下取りを狙っていたのではないかという見方がされるようになった。『黒田家譜』にはっきりと書かれているわけではないが、記述の行間からそれを読み取ることはできる。

織田信長が本能寺の変で死んだ後、官兵衛は軍師として羽柴秀吉に、信長の後継者の地位に就き、天下取りを目指すよう助言する。それは自分が天下を取ることを考えていなかったからではない。その時、官兵衛はまだ秀吉の家来であり、天下取りに手を挙げても、周囲がついてこない。そこで、とりあえずは織田家の家臣のなかで天下を取れる可能性がある秀吉に天下を取らせ、その後を狙っていたのではないかと、推察する関係者もいる。

天下取りの野望をもっていたことの根拠となるのが、関ヶ原の戦いの際のエピソードだ。徳川家康に味方した跡継ぎの長政は、小早川秀秋を東軍に寝返らせて戦況を有利にするという武勲を挙げる。家康が長政の右手を握りしめて感謝したことを長政から聞いた官兵衛は、「その時、お前の左の手は何をしておった」とたずねた。これは、なぜ左手で家康を刺さなかったのかという意味だと解釈されている。

関ヶ原の戦いの時、官兵衛は黒田の全軍を預けて長政を送りだした。その一方で官兵衛はひそかに浪人を集めて別の軍を作り、関ヶ原の戦いに出兵して手薄になっている九州の大名を攻め、薩摩を除いた九州をほぼ平定した。

官兵衛は、関ヶ原の戦いは長引くとみて、東軍と西軍が疲弊した頃、九州から攻め上ろうと画策していたが、皮肉なことに長政の活躍で関ヶ原の戦いが短期間で終わってしまう。そのため、いったん、野望を隠して家康に臣従したが、その後も虎視眈々と天下取りの機会を窺っていたとも考えられる。

もし、関ヶ原の戦いが長引いていたら、天下人になっていたのは官兵衛だったかもしれない。

群馬県ゆかりの偉人・楫取素彦が主要登場人物として描かれる

楫取素彦（1829～1912）〔萩博物館所蔵〕
明治32年（1899）撮影。前列左が楫取素彦。旧名は小田村伊之助。吉田松陰は楫取に全幅の信頼を寄せており、安政6年（1859）に江戸の獄舎送りになった時、楫取に松下村塾を託した。楫取は明治17年（1883）に元老院議官に就任、同21年には男爵に叙せられた。前列右端が文。安政4年（1857）に松陰の弟子・久坂玄瑞と15歳で結婚、玄瑞が元治元年（1864）に禁門の変で敗れた責任を取り自刃、文は未亡人となり、明治16年（1882）に楫取と再婚した。

富岡製糸場のキーストーン
倉庫正面のアーチには、建設年を示す「明治5年」と刻まれたキーストーンがはめ込まれている。

富岡製糸場
平成26年（2014）6月に世界文化遺産登録

来年の平成27年（2015）1月4日から始まるNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の主要人物として、群馬県にゆかりの深い楫取素彦（1829～1912）初代群馬県令（知事）が登場します。楫取県令は、「花燃ゆ」の主人公で吉田松陰の妹・文の夫です。楫取県令と吉田松陰はともに長州藩（山口県萩市）の出身で、二人は親友でした。楫取県令の最初の妻は松陰の妹で文の姉・寿でした。寿は明治14年（1881）に病没、その後妻として2年後の明治16年（1883）に文が楫取県令に嫁いだのでした。

富岡製糸場の危機を救った楫取県令

楫取県令は、明治新政府の高官で、明治九年（一八七六）に初代群馬県令に就任しました。在任中は、県内の情勢を詳しく視察し、県民の生活を豊かにするために心を砕いたといいます。県政を円滑に進めるためには、産業と教育が重要であるとし、この分野の振興に特に力を注いだそうです。とりわけ養蚕に関しては、蚕種・養蚕・製糸・織物の熟練者を育て、研究を奨励しました。

また、富岡製糸場が廃止されそうになった時に、楫取県令の上申により危機を免れたことがありました。それは以下のような経緯です。政府は明治三年（一八七〇）に殖産興業の一環で富岡製糸場を建設、操業を開始しました。しかし、絹糸の市場価格が下落傾向にあったため、経営状態は思わしくなく、明治一三年（一八八〇）に政府は民間会社から経営の引き受け手が現れないため、廃止を決定しました。これに対して楫取県令は、群馬県の産業振興に富岡製糸場は欠かせない存在だとして、政府に存続の意見書を提出し、それにより政府の廃止決定は覆り、存続することとなりました。

臨江閣――前橋の代表的な歴史遺産

群馬県前橋市と萩市は平成一四年（二〇〇二）に友好都市の提携を結びました。楫取県令は萩市出身で、前橋への県庁誘致を決定づけた初代群馬県令であり、群馬県の発展に尽力されたことが友好都市の礎となっています。

臨江閣は近代和風の木造建築で、全体は本館・別館・茶室から成り、本館と茶室は県指定、別館は市指定の重要文化財となっています。

本館は明治一七年（一八八三）九月、楫取県令や市内の有志らの協力と募金により迎賓館として建てられました。
〔所在地〕群馬県前橋市大手町三丁目一五番地

文と素彦 絹物語 愛つむぐ風のまち。

↑ぐんま「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会が作成したロゴマーク。

臨江閣

前橋市の歴史に触れる「花燃ゆ」関連施設

臨江閣 「幕末の長州と明治の群馬がつながる場所」と呼ばれています。（前橋観光コンベンション協会提供）

室内から庭園の紅葉を眺めることができます。

臨江閣茶室

明治17年（1884）、本館建設に際し、市民の惜しみない寄付に感激した楫取素彦県令が当時の県庁職員の醵金により、建設しました。茶室の名前は、平成20年（2008）の全国都市緑化フェア開催時に、楫取県令の号をとって「畊堂庵」と命名されました。揮毫は楫取県令の曾孫・小田村四郎氏（元拓殖大学総長）〔所在地〕前橋市大手町三丁目15番地

前群馬県令楫取君功徳碑

初代前橋市長下村善太郎氏をはじめ、市内の有力者が発起人となり、明治25年（1892）3月に前橋公園内に建立。同年4月に楫取氏を招き建碑式を行ったといいます。碑の傍らには、楫取氏の出身地である萩市からいただいた夏みかんと椿が植えられています。現在は群馬県庁近くの高浜公園（前橋市大手町一丁目）にあります。

「花燃ゆ」の主要キャスト〔写真提供 NHK〕
左から 東出昌大（久坂玄瑞 役） 伊勢谷友介（吉田松陰・寅次郎 役）
井上真央（ヒロイン・杉 文 役） 大沢たかお（小田村伊之助〈楫取素彦〉 役）
優香（杉 寿 役） 原田泰造（杉 梅太郎 役）
◎ドラマは、吉田松陰の妹・文を主人公に、
幕末から明治維新の動乱期に活躍した英傑たちの姿を描く。

お客様紹介

㈱プリンスホテル 様

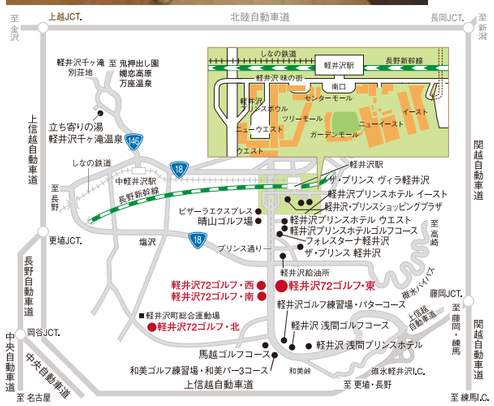
―「プリンスリゾート軽井沢」の注目施設―
軽井沢72ゴルフ東クラブハウスがオープン

軽井沢72ゴルフ東クラブハウスの建設工事が完了し、2014年7月にオープンしました。㈱ヤマトは、衛生設備及び温浴設備を施工しました。同クラブハウスは鉄筋コンクリート2階建て、延床面積は約3,200㎡で従来のクラブハウスの約3倍に拡大されています。レストランやコンペルーム、大浴場を完備し、高級感のあるクラブハウスです。施主の㈱プリンスホテル様は、同クラブハウスを始めとして、宿泊施設やショッピングプラザを拡充し、「プリンスグランドリゾート軽井沢2014プロジェクト」を展開しています。ゴルフ、ホテル、ショッピングで軽井沢の魅力がますます高まりました。プリンスグランドリゾート軽井沢は、年間を通じてレジャーやショッピングを楽しむことができます。

開放的なロビー

高級感あふれる大浴場

豪華さと落ち着きを備えたトイレ



クラブハウスのロッカールーム
木のぬくもりを感じます。

隣接する軽井沢・プリンスショッピングプラザ

軽井沢72ゴルフは「国際親善文化観光都市」である軽井沢にある、4つのプリンスホテル、軽井沢72ゴルフの4つを含めた全8つのゴルフ場、スキー場、ショッピングモールから成る「プリンスグランドリゾート軽井沢」に属するゴルフ場です。プロ仕様の本格的なトーナメントコースである北コース、戦略的なゴルフを楽しむアスリート向けコースである東コース、気軽にゴルフを楽しめるカジュアルコースである西コース、アフターも充実のスループレーコースである南コースの全6コース(全108ホール)からなり、ビギナーからプロまで幅広いプレイヤーにご利用いただいております。

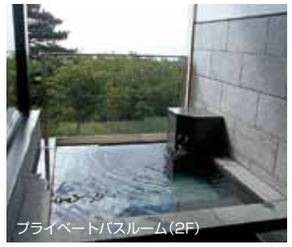
軽井沢72ゴルフ東
支配人
蝦名 元樹 様

軽井沢72ゴルフ東コース
〒389-0197
長野県北佐久郡軽井沢町
発地南軽井沢
TEL.0267-48-0072

―川奈ホテルのハイグレード温浴施設―

『ブリサ マリナ Brisa marina』誕生(伊豆・川奈温泉)

女性用露天風呂(2F)


プライベートバスルーム(2F)

男性用露天風呂(1F)

川奈ホテル 支配人
河野 圭仁 様

川奈ホテル
〒414-0044 静岡県伊東市
川奈1459
TEL.0557-45-1111

新温浴施設「ブリサ マリナ」は目の前に広がる美しい海からの心地よい潮風をあびながら広大な自然を感じていただくべく眺望にこだわりました。男性用は浴槽の前にゴルフコースを再現し、入浴中もゴルフ気分を満喫できる空間、女性用は浴槽と遠景の海が一体化して感じられる工夫を施し、伊東の海の美しさを堪能いただける空間となっております。

新たな施設が加わった川奈へ、ぜひご家族の皆さまとお越しください。

川奈ホテル(静岡県伊東市川奈1459)は昭和11年(1936)創業、伊豆を代表する格式と伝統を有する西武グループのクラシック・リゾートホテルです。2014年7月14日に多機能温浴施設「ブリサ マリナ(Brisa marina)」がオープンしました。㈱ヤマトは、この施設の衛生設備及び温浴設備を施工しました。「ブリサ マリナ」は、スペイン語で、海風を表す言葉です。極上のリゾートホテルにふさわしい温浴施設で、開放的な露天風呂、プライベートバス、リラクゼーションルームが完備されています。

ブリサ マリナの概要

●ご利用は川奈ホテルご宿泊者さま専用
●営業時間
日の出～11:00A.M.(最終入館10:30A.M.)
1:00P.M.～12:00MID.(最終入館11:30P.M.)
※季節により営業時間が変更になる場合がございます。
●料金　ご宿泊のお客さま　無料
●入湯税
1名さま1日につき 別途150円頂戴いたします。
(6歳未満のお子さまは非課税)
●プライベートバス(予約制)の利用料
【UMI(海)----ラグジュアリータイプ】
2時間1室20,000円(税込)
【TSUKI(月)----スタンダードタイプ】
1時間1室5,000円(税込)
●リラクゼーションルームのご利用は別途ご料金を頂戴いたします。※刺青、タトゥをされた方、オムツを使用しているお子さまのご利用は固くお断りいたします。※ブリサマリナへはエレベーター 2Fから連絡通路をご利用ください。※客室に備え付けの館内着・スリッパは客室とブリサマリナのみでご使用ください。(フロント・ロビー・レストランでの館内着・スリッパはご遠慮ください)※浴衣は客室内のみでご使用お願いします。
○泉質:カルシウム・ナトリウム－硫酸塩・塩化物温泉(低張性・弱アルカリ性・高温泉)
○泉温62.6℃
○適応性　神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、など

川奈ホテル　TEL:0557-45-1111

川奈ホテル 夜景

レストラン

ブリサ マリナの外観

ゴルフ富士コース

お客様紹介

社会福祉法人県央福祉会 特別養護老人ホーム つかのめの里 様

新潟県三条市

ヤマト大温度差蓄熱空調システムの導入から4年が経過

空調のランニングコストが大幅に削減

社会福祉法人県央福祉会 特別養護老人ホーム つかのめの里様 外観

ゆっくりとくつろぐ入居者の方々

背面には「緑のカーテン」の役割をするゴーヤの葉が窓をおおっています
庶務課長代理 遠藤さん（写真左） 理事 園長 村山さん（写真中央） 次長 生活相談員 相田さん（写真右）

つかのめの里様がヤマト大温度差蓄熱空調システムを導入されたのは平成22年7月で、その導入効果は別掲のグラフのようになっています。平成26年8月26日に、村山園長はじめ施設の方々に、お話を伺いました。

村山様は、空調を使う上で特に不都合は無く、電気料金が下がっていることを実感しているとお話してくださいました。また、今回の設備に更新する前は、ボイラーを使っており、故障が多く維持管理に手間がかかっていましたが、現在はそうした負担が軽くなり、とても使い勝手が良いとのご感想でした。職員の負担軽減のためにも、扱い易い空調は大変ありがたいと評価してくださいました。

つかのめの里様には、新潟県内はじめ各地から老人介護施設からの見学があります。見学された方々からは、空調に関する質問が寄せられるそうです。つかのめの里様でも、導入にあたっては、既に導入済みの長岡三古老人福祉会様の施設を見学されており、実際に見学した上で判断するのが大切と強調されています。

空調設備の初期投資は約6年間で回収できる計画です。6年経過後は、大幅に下がった電気料金が長期間続き、メリットが大きくなります。また、蓄熱システムはCO2の排出量の削減効果もあり、地球環境への負担を減らすこともできます。これからも、空調設備では蓄熱システムの良さを実感することになるでしょう、とお話してくださいました。

社会福祉法人県央福祉会

法人経営理念

私たちは「利用者主体の質の高い福祉サービスを通じて、地域社会に貢献します」

基本方針

利用者主体

- 利用者の基本的人権を尊重します。
- 利用者の主体性や最善の利益、個性に配慮し取り巻く環境の整備に努め、健全な成長や自立を支援します。
- 利用者の成長や生活を支える柔軟なサービスを提供します。
- 利用者と地域社会との関わりや交流が促進されるように努めます。

質の高い福祉サービス

- 利用者が安心や安全と快適さを感じる福祉サービスを提供します。
- 福祉サービスの評価、点検、改善に継続的に取り組みます。
- 専門性と良識を持った福祉人材の育成と確保に努めます。
- 福祉サービスが継続して提供できるための経営基盤の確立に努めます。

地域社会への貢献

- 多様な関係機関や住民と協力、連携して地域福祉の向上に努めます。
- 積極的な施設開放や情報公開等を通じて、組織や事業の透明性を確保します。
- 法人、事業所、職員が持つ機能や専門技術等を積極的に地域に還元します。
- 新たな地域の福祉ニーズに応える事業展開に努めます。

広々とした食堂とリハビリスペース

ぬり絵を楽しむ

施設内の廊下や壁には折り紙やぬり絵などが貼ってあります

壁には沢山の作品が飾られています

1階のロビーには、利用者の方々が作った作品が飾られています。ヤマトのマスコットキャラクター・大ちゃんトコちゃんも飾られていました

以前はボイラーがあった機械室は倉庫として活用しています

社会福祉法人 県央福祉会 概要

法人設立	昭和54年8月11日
経営する施設	障害者支援施設 … 1
	障害福祉サービス事業所 … 3
	共同生活援助事業所… 8
	特別養護老人ホーム … 3
	小規模多機能型居宅介護事業所 … 2
	認知症対応型共同生活介護事業所… 1
	児童福祉施設 … 1
	生きがい活動支援通所事業所… 1

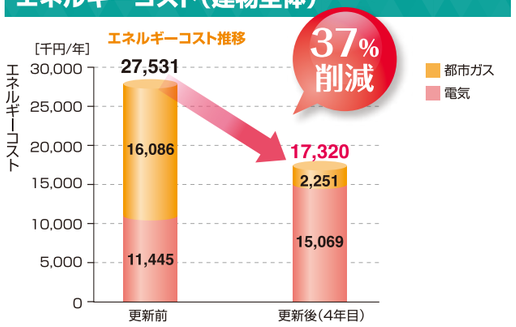
施設概要

施設名称	特別養護老人ホームつかのめの里
所在地	新潟県三条市塚野目2380番地2
建物概要	RC造2階建
延床面積	4142m²
用途	特別養護老人ホーム
竣工	平成6年3月
更新工事竣工	平成22年7月

システム概要

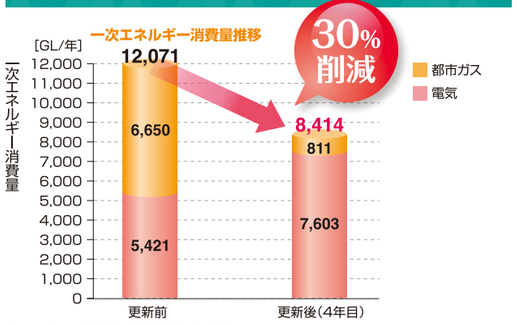
空調熱源	高効率大温度差蓄熱空調システム
	空冷ヒートポンプチラー50馬力×2基
蓄熱槽	温度成層型水蓄熱槽150m³
遠隔監視	ヤマトTASKPLUS
その他	空調機は既存利用

エネルギーコスト（建物全体）



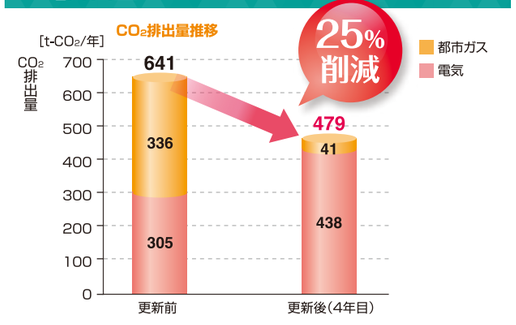
更新前の値は平成21年7月～平成22年6月のエネルギー使用量を基に平成26年6月現在の料金単価に換算しています。更新後の値は平成25年7月～平成26年6月のエネルギー使用量を基に平成26年6月現在の料金単価に換算しています。

一次エネルギー消費量



一次エネルギーの算出には以下の数値を使用しています。
都市ガス 42.0MJ/Nm3、電気（昼） 9.97MJ/kWh、電気（夜） 9.28MJ/kWh

CO_2排出量



CO_2の算出には以下の数値を使用しています。
都市ガス 2.12kg-CO_2/Nm3、電気 0.560kg-CO_2/kWh